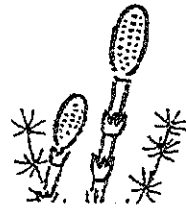


昨年5月、周陽地区が山口県在宅福祉サービス促進事業の推進地区指定を受けました。第二年度を迎え具体的な取り組みが検討されています。先日山口市での福祉研修会事例発表の一部を紹介いたします。

あたたかい地域社会に向かって ひろがれ福祉の輪

県下に3600名の福祉員が設置されていますが周陽地区には只今設置されておりません。

福祉員の手記



山口県社協小地区福祉員
主人の自治会長在任中、七月に町内の事情がよく分るからとの事でありましょうか、私に福祉員にのぞきおすめがあり、分らぬまゝ御引交しました。途中で福祉員の研修会等あり、パンフレット等を頂くにつけ段々様子が分つて参りましたが、今省みて残念ながら立派な実績、お役に立つた事、人にお話出来る事は一つもなく恥かしいのですが、極狭い範囲ながら一独居老人とのかゝわりを誓って見たいと思ひます。

私達の自治会は住宅街で、福祉の対象になる家庭が少なく、サラリーマン的家庭や初老夫婦単位の標準家庭が多く問題の少ない町内の様です。四月始めに民生委員の方が町内家庭の調査に来られ、九十才独居老人の事を知りました。自治会長宛にも「あの老人を一人で置いて火事など大丈夫か」「大雨が降つて、おじいさんの家の煙が落ち、外の便所は水につか

つて大変だから、市へ交渉してあげて呉れ」等と電話がありました。直ちに家に行き、福祉員として現場を見、事情を聞きましたが、家庭事情はあまり話したくない様子なので、深くは聞きませんでした。しかしいくら独居老人とはいへ、家の修理や廻りの浸水まで市に交渉する事は出来ないもので、たまたまその人の孫が隣町に居られるのを知り電話連絡をして家の事は落着きました。

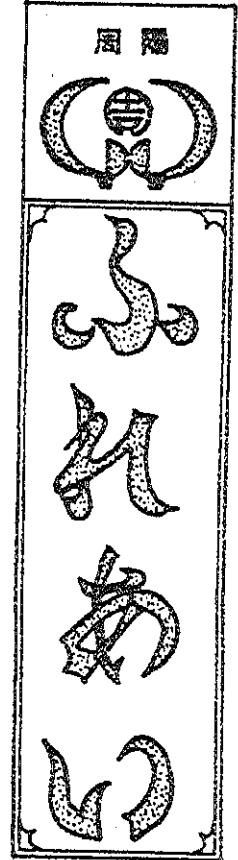
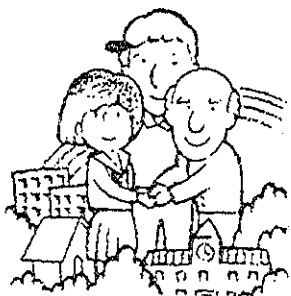
この人は、九十とはいへ耳は遠いけれど意志努力共にしっかりし、プライドも持つてきちんと生活をされ、週に幾回か市派遣のホームヘルパーに助けられ、近所の人達の善意ある親切を受けて暮らして居られる様子でした。この人は愛に同情されるのを嫌う人の様でしたが、つくづく考えて見ますと身心共に弱まつて一人で生活をするという事がどんなにさみしい事か、人間話相手もなく、いつも生活している性格まで変わるとか聞いておりましたので、なるべく声をかけてあげたいと思ひました。

又ある時、悲天候のバス停でびしょ濡れのその老人を見付け、すぐ車に乗せ目的地に送り、カゼをひかさないですんでホツとした事もありました。

九十才を越え元気な様子でしたが、私が娘のお産で遠地へ行つて居る時、九月に入院され帰つてお慰舞に行つた時は誰か分からない様子で十一月には亡くなりました。

「しんしんと授かる命竹脱皮」という初夏旬会の句が遺句になりました。二年間のおつきあいでしたが、趣味を心の支えとして一人でシヤンとした生き方を私はこの老人から教つた様な気がしました。

成績は次のとおりです



周陽公民館
TEL
28-6515

交通安全

子ども大会

徳山交通安全協会

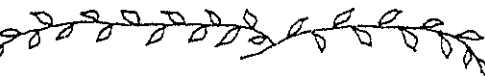
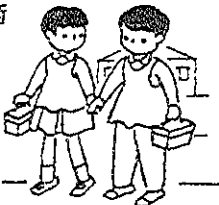
日時 昭和57年4月11日(日曜)
第1回目----10時30分から
第2回目----14時から

場所 交通教育センター(東緑地公園)

内容

- ◎ 映画の会 (漫画)
- ◎ お話し
- ◎ クイズ大会 (賞品があります)
- ◎ 腹話術

春の交通安全
県民運動期間中
4月6日
15日



(新団員5・4年生)

- 1位 岡本知成
- 2位 田中晋平
- 3位 古川裕二

(新団員3・2年生)

- 1位 佐伯 剣
- 2位 小方晴美
- 3位 井上和憲

(中学生の部)

- 1位 原田和彦
- 2位 藤本欣賢
- 3位 金清凌一

(6年生の部)

- 1位 藤井 伸司
- 2位 森原 幸也
- 3位 渡辺辰也
- 3位 柳 慎一

(5年生の部)

- 1位 浜垣幸一
- 2位 有留功一
- 3位 佐伯 剛

(4年生の部)

- 1位 内海洋 二也
- 2位 中島 哲也
- 3位 松本 章

(3年生の部)

- 1位 藤井 仁夫
- 2位 津田 達夫
- 3位 西尾 拓

おめでとう

第四回 周南武道少年団 剣道大会



六年生の送別を兼ねて、武道少年団員九十名参加して一年間の総仕上げ大会が三月七日周陽小体育館で行われました。試合の終了後、アトラクションとして親子試合がなごやかにそして真剣に行われました。日頃練習している子ども達とは違い、お父さんお母さん達の新剣法に笑いこぼる子ども達も。でも勝敗は。やはり子ども達には負けられません。